



# 光の子だより

令和5年8月31日  
千葉市立作新小学校  
校長 遊間 京子

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

☆期待する子ども像☆  
自ら学び、よく考える「かしこい」子ども  
思いやりのある心豊かな「あたたかい」子ども  
丈夫な心と体を持つ「たくましい」子ども

2023年の夏休みはどんな夏でしたか?保護者の皆様方にとっては、学校のある日程の方が規則正しい生活となるので、早く学校が始まってほしいと切望されていたかもしれません。

各地で最高気温が記録される中、暑さから命を守る工夫と行動が必要でしたが、少しでも暑さを回避するために私は、ほぼ毎日4時台には起きて、陽が昇る前に犬の散歩から一日をスタートしていました。

ところで、この夏の普段はできない体験として、私は『ラクダ・砂漠・大草原・遊牧・冬はとてつもなく寒い国』であるモンゴルに行ってきました。教え子である教員が、JICA:海外協力青年隊に派遣されていて、その方々と合流して現地校の視察と遊牧民との触れ合いや大草原のゲルという移動組み立て式の家に泊まりました。壮大な大自然からパワーをもらって日本に帰ってきました。

この年のこの夏にしかできない㊦かなかできない遊びや学びができたなら㊦。何か1つでも44日間㊦づけようと努力したら㊦。㊦ってはいけない危ないことを避けられたら㊦。㊦すんで自分からお手伝いできたなら㊦。最後に、㊦んな8月28日の夏休み明けに笑顔で集まることができたら㊦。㊦㊦㊦㊦㊦の成長を学校で見せて下さいね。

## 「寺子屋」

3年間お休みしていた、[結まあ〜るの会]という天戸中地区の子どもたちの健やかな成長を願って活動するボランティアグループが、夏休み中の生活リズムの維持と宿題を中心に計画的に学習を進めるお手伝いを目的に学習支援を行いました。約50名の子どもたちが自学自習を行い、意味のある時間になりました。また、最終日にはハーモニカの演奏を聴かせてもらい、ビンゴ大会を行いました。地域の方々の支援に感謝申し上げます。



## 「前期末」

子どもたちの頑張りは通知表で示されます。本校では、昨年度より個人面談を充実させて、教職員が子どもたちと向き合う時間の確保をするために、前期通知表の所見をなくしました。今後も日頃の学校での様子や学習面のことで気になることは、気軽に担任や学年主任に声をかけてもらい、常に家庭と学校が一体となって子どもを育みたいと思います。

前期末には各教科の単元ごとに、小テストが実施されるのですが、その活用として一番大事なことは、どの部分が理解できたか/できなかったのかを確認していくことです。よい点数が取れたかだけではなく、その後と同じ問題が出題された時には、できるようにしておくことが肝心です。ご家庭では小テストの活用ができるよう助言をして下さい。

## 「夏祭り」

日本の夏が戻ってきました。7/29の長作台緑が丘自治会と8/5の作新台自治会の夏祭りが開催されて縁日や盆踊りと楽しめたことでしょう。

さて、日本の夏祭りには無病息災や五穀豊穡を願い、労働者を労うなどの意味があります。人々は神様の乗り物でもある神輿を担ぎ、街中を練り歩くことも多いのですが、その地域特有の踊りでは願いを込めたものとなっています。盆踊りには欠かせない太鼓の音は会場をひとつにして胸に響きますね。

## 「折り紙」

長作公民館近くに在住の元作新小教員の方より立体的な折り紙の飾り物を頂き、感謝です。

